



FRANKLIN
TEMPLETON

LM・米国・
ラージ・キャップ・
グロース・ファンド
愛称：アメリカンパワー

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年7月22日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

償還報告書（全体版）

繰上償還

第16期 償還日 2022年7月22日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド」は、2022年7月22日に約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。
ここに謹んで運用の経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、厚くお礼申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		税金 分配	騰落 率				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
12期(2018年7月23日)	29,076	0	20.9	93.9	—	1.5	157
13期(2019年7月22日)	30,545	0	5.1	93.8	—	1.9	270
14期(2020年7月22日)	35,816	0	17.3	96.3	—	2.0	206
15期(2021年7月26日)	47,965	0	33.9	92.9	—	1.5	278
(償還時)	(償還価額)						
16期(2022年7月22日)	43,212.11	—	△ 9.9	—	—	—	217

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率
		騰落 率	騰落 率			
(期首)	円 銭		%	%	%	%
2021年7月26日	47,965		—	92.9	—	1.5
7月末	47,049		△ 1.9	92.9	—	1.4
8月末	48,545		1.2	92.7	—	1.4
9月末	47,410		△ 1.2	89.5	—	1.4
10月末	50,883		6.1	91.3	—	1.4
11月末	52,176		8.8	88.6	—	1.3
12月末	52,776		10.0	93.1	—	1.4
2022年1月末	46,559		△ 2.9	92.1	—	1.3
2月末	45,308		△ 5.5	91.4	—	1.4
3月末	50,010		4.3	92.9	—	1.4
4月末	45,590		△ 5.0	90.6	—	1.5
5月末	43,505		△ 9.3	90.6	—	1.5
6月末	43,515		△ 9.3	87.6	—	1.6
(償還時)	(償還価額)					
2022年7月22日	43,212.11		△ 9.9	—	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

設定来の基準価額等の推移

(2006年7月28日～2022年7月22日)



○基準価額の変動要因

設定来の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因についても、米ドル高・円安を受けてプラスとなりました。

米国株式相場は、設定来で上昇しました。

2008年から2009年にかけては、世界金融危機を受けて株価が軟調となる場面が見られましたが、その後は米国経済が概ね堅調となる中、株価は上昇基調となりました。

2020年には、新型コロナウイルスの世界的な大流行を受けて経済活動が縮小したことから、株価は急落する場面が見られました。しかしその後は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴い、社会経済活動が次第に正常化したことから、株価は上昇しましたが、信託期間の終わりにかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めへ転じたことなどから、売りが優勢となりました。

米ドル・円相場は、設定来で米ドル高・円安となりました。

2007年から2012年にかけては、FRBが政策金利の引き下げを継続し、日米金利差が縮小したことや、リーマン・ショックや東日本大震災の発生を受けてリスク回避姿勢が高まったことなどから、米ドル安・円高が進みました。

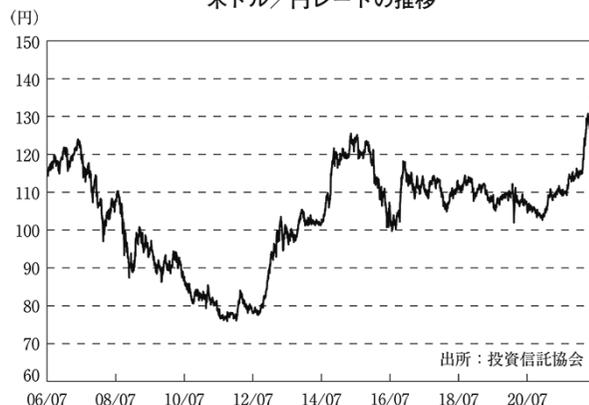
2013年から2015年にかけては、安倍政権の発足に伴い、日銀が推し進めた積極的な金融緩和策などを背景に、米ドル高・円安傾向となりました。

その後は、概ね一進一退を繰り返す展開が続きましたが、2022年に入り、インフレ抑制を目的にFRBが金融引き締めへ転じたことなどから、米ドル買い・円売りが進みました。

米国S&P500指数の推移



米ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2006年7月28日～2022年7月22日)

当ファンドは、主に「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。信託期間を通じて、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

分配金

(2006年7月28日～2022年7月22日)

信託期間中における分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、これまで当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年7月27日～2022年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	858	1.795	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(442)	(0.925)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(390)	(0.816)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(26)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.008)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	182	0.380	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(160)	(0.335)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(19)	(0.040)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	配当に係る税金の支払い
合 計	1,044	2.184	
期中の平均基準価額は、47,777円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

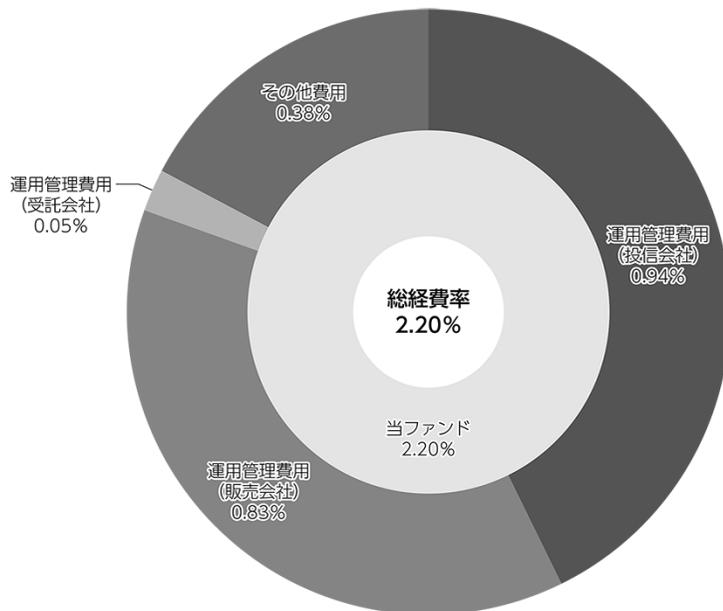
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.20%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 12,643	千円 80,138	千口 57,572	千円 334,013

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年7月27日～2022年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	398,471千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	262,660千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.52

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2021年7月27日～2022年7月22日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年7月27日～2022年7月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年7月22日現在)

2022年7月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド			千口 44,929

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年7月22日現在)

項	目	償		還		時	
		評	価	額	比	率	
コール・ローン等、その他			千円				%
			220,304				100.0
投資信託財産総額			220,304				100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2022年7月22日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	220,304,937
コール・ローン等	220,304,937
(B) 負債	2,626,348
未払解約金	200,507
未払信託報酬	2,370,497
未払利息	1,485
その他未払費用	53,859
(C) 純資産総額(A-B)	217,678,589
元本	50,374,441
償還差益金	167,304,148
(D) 受益権総口数	50,374,441口
1万口当たり償還価額(C/D)	43,212円11銭

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

57,985,936円

期中追加設定元本額

16,583,453円

期中一部解約元本額

24,194,948円

○損益の状況 (2021年7月27日～2022年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,485
支払利息	△ 1,485
(B) 有価証券売買損益	△ 18,979,692
売買益	7,759,280
売買損	△ 26,738,972
(C) 信託報酬等	△ 5,237,219
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 24,218,396
(E) 前期繰越損益金	57,567,140
(F) 追加信託差損益金	133,955,404
(配当等相当額)	(119,447,664)
(売買損益相当額)	(14,507,740)
償還差益金(D+E+F)	167,304,148

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の45相当額を支払っております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年7月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年7月22日		資産総額	220,304,937円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,626,348円
受益権口数	600,000,000口	50,374,441口	△549,625,559口	純資産総額	217,678,589円
元本額	600,000,000円	50,374,441円	△549,625,559円	受益権口数	50,374,441口
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第5期	586,135,738円	459,725,794円	7,843円	0円	0%
第6期	434,286,733	347,251,379	7,996	0	0
第7期	299,668,933	397,465,008	13,263	0	0
第8期	207,823,419	330,651,893	15,910	0	0
第9期	122,822,913	276,157,613	22,484	0	0
第10期	127,350,751	251,885,569	19,779	0	0
第11期	106,253,728	255,546,510	24,051	0	0
第12期	54,110,876	157,332,198	29,076	0	0
第13期	88,449,064	270,167,815	30,545	0	0
第14期	57,734,244	206,780,412	35,816	0	0
第15期	57,985,936	278,129,998	47,965	0	0

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	43,212円11銭
----------------	------------

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド

運用状況のご報告

繰上償還日 2022年7月21日

(計算期間：2021年7月27日～2022年7月21日)

－ 受益者のみなさまへ －

「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」は、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド」が投資対象とする親投資信託であり、投資信託財産の実質的な運用を行ってまいりましたが、2022年7月21日に繰上償還させていただきました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの償還の内容をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業を中心に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円銭	騰落率				
12期(2018年7月23日)	35,913	22.9	92.8	—	1.5	159
13期(2019年7月22日)	38,425	7.0	93.0	—	1.9	272
14期(2020年7月22日)	45,800	19.2	95.4	—	2.0	208
15期(2021年7月26日)	62,408	36.3	92.1	—	1.4	280
(償還時) 16期(2022年7月21日)	(償還価額) 57,335.32	△ 8.1	—	—	—	220

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
	円銭	騰落率			
(期首) 2021年7月26日	62,408	—	92.1	—	1.4
7月末	61,229	△ 1.9	92.9	—	1.4
8月末	63,276	1.4	92.6	—	1.4
9月末	61,895	△ 0.8	89.2	—	1.4
10月末	66,508	6.6	90.9	—	1.4
11月末	68,302	9.4	88.1	—	1.3
12月末	69,185	10.9	92.5	—	1.4
2022年1月末	61,219	△ 1.9	92.0	—	1.3
2月末	59,660	△ 4.4	91.2	—	1.3
3月末	65,936	5.7	92.6	—	1.4
4月末	60,218	△ 3.5	90.1	—	1.5
5月末	57,572	△ 7.7	89.9	—	1.5
6月末	57,670	△ 7.6	86.7	—	1.6
(償還時) 2022年7月21日	(償還価額) 57,335.32	△ 8.1	—	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

設定来の基準価額等の推移

(2006年7月28日～2022年7月21日)



○基準価額の変動要因

設定来の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因についても、米ドル高・円安を受けてプラスとなりました。

米国株式相場は、設定来で上昇しました。

2008年から2009年にかけては、世界金融危機を受けて株価が軟調となる場面が見られましたが、その後は米国経済が概ね堅調となる中、株価は上昇基調となりました。

2020年には、新型コロナウイルスの世界的な大流行を受けて経済活動が縮小したことから、株価は急落する場面が見られました。しかしその後は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展に伴い、社会経済活動が次第に正常化したことから、株価は上昇しましたが、信託期間の終わりにかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めへ転じたことなどから、売りが優勢となりました。

米ドル・円相場は、設定来で米ドル高・円安となりました。

2007年から2012年にかけては、FRBが政策金利の引き下げを継続し、日米金利差が縮小したことや、リーマン・ショックや東日本大震災の発生を受けてリスク回避姿勢が高まったことなどから、米ドル安・円高が進みました。

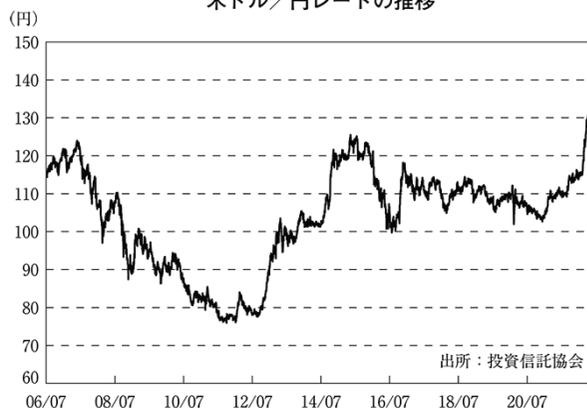
2013年から2015年にかけては、安倍政権の発足に伴い、日銀が推し進めた積極的な金融緩和策などを背景に、米ドル高・円安傾向となりました。

その後は、概ね一進一退を繰り返す展開が続きましたが、2022年に入り、インフレ抑制を目的にFRBが金融引き締めへ転じたことなどから、米ドル買い・円売りが進みました。

米国S&P500指数の推移



米ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。信託期間を通じて、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、これまで当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月27日～2022年7月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7) (0)	% 0.011 (0.011) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.002 (0.002) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	319 (319) (1)	0.509 (0.508) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 配当に係る税金の支払い
合 計	327	0.522	
期中の平均基準価額は、62,722円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年7月21日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 41 (8)	千米ドル 737 (-)	百株 164	千米ドル 2,371

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
	EQUINIX INC	0.03	2	0.47	30
	小 計	0.03	2	0.47	30

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

(2021年7月27日～2022年7月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	400,133千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	262,660千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.52

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年7月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年7月21日現在)

2022年7月21日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(アメリカ)		百株
ADOBE INC	1	
ADVANCE AUTO PARTS	1	
AKAMAI TECHNOLOGIES	2	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	1	
AMAZON.COM INC	0.51	
AMGEN INC	1	
ANHEUSER-BUSCH INBEV SPN ADR	2	
APPLE INC	7	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	2	
BOOKING HOLDINGS INC	0.13	
THE WALT DISNEY CO.	2	
ECOLAB INC	1	
FACEBOOK INC-A	4	
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	2	
WW GRAINGER INC	0.91	
HOME DEPOT INC	1	
INTUITIVE SURGICAL INC	0.2	
MICROSOFT CORP	4	
MONSTER BEVERAGE CORP	3	
NUTANIX INC - A	4	
NVIDIA CORP	4	
PALO ALTO NETWORKS INC	1	
QUALCOMM INC	4	
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	4	

銘柄	期首(前期末)	
	株	数
(アメリカ)		百株
SALESFORCE.COM INC	3	
SEA LTD-ADR	1	
SPLUNK INC	2	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1	
TRACTOR SUPPLY COMPANY	1	
UBER TECHNOLOGIES INC	8	
UIPATH INC - CLASS A	2	
ULTA BEAUTY INC	1	
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	2	
UNITEDHEALTH GROUP INC	1	
VISA INC-CLASS A SHARES	4	
VMWARE INC-CLASS A	1	
WORKDAY INC-CLASS A	1	
ZOETIS INC	3	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	1	
EATON CORP PLC	1	
IHS MARKIT LTD	4	
APTIV PLC	2	
ALCON INC	4	
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	0.5	
NXP SEMICONDUCTORS NV	1	
計	株	数
合	株	114
計	銘柄	数
合	銘柄	45

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	
	口	数
(アメリカ)		百口
EQUINIX INC	0.44	
計	口	数
合	口	0.44
計	銘柄	数
合	銘柄	1

(注) 口数の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年7月21日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 220,502	% 100.0
投資信託財産総額	220,502	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

(2021年7月27日～2022年7月21日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2022年7月21日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	220,502,783
コール・ローン等	220,502,783
(B) 負債	372,395
未払解約金	371,900
未払利息	495
(C) 純資産総額(A-B)	220,130,388
元本	38,393,508
償還差益金	181,736,880
(D) 受益権総口数	38,393,508口
1万口当たり償還価額(C/D)	57,335円32銭

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	44,929,601円
期中追加設定元本額	12,643,095円
期中一部解約元本額	19,179,188円

(注) 期末における元本の内訳

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド	38,393,508円
--------------------------	-------------

○損益の状況 (2021年7月27日～2022年7月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,689,317
受取配当金	1,628,548
受取利息	61,810
その他収益金	4,535
支払利息	△ 5,576
(B) 有価証券売買損益	△ 26,572,914
売買益	81,542,570
売買損	△108,115,484
(C) 保管費用等	△ 1,636,933
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 26,520,530
(E) 前期繰越損益金	235,466,095
(F) 追加信託差損益金	67,495,116
(G) 解約差損益金	△ 94,703,801
償還差益金(D+E+F+G)	181,736,880

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。